

【財政】 本郡大正十年年度歳入出原豫算は十五萬參千二百八十圓で内歳入は經常部十三萬九千四百四十五圓臨時部壹萬四千三百三十五圓歳出は經常部七萬八千二百五十五圓臨時部七萬五千二十五圓である、歳入の内十二萬九千二百三十圓は町村分賦額で他の收入では縣補助金の壹萬千四百二十四圓土木費寄附金の千九百二十五圓、授業料の九千六百六十九圓が主である、又歳出の主なるものは土木費に屬する經常臨時の歳出五萬六千二百九十七圓、同教育費の三萬八百四十六圓勸業費の二萬六千三百四十八圓吏員費の壹萬六千六百五十二圓と云ふ順で土木費の内主なるものは大口道外六線の郡道改修費三萬四千四百四十八圓他の道路修繕費壹萬千六百三十六圓教育費の主なるものは三豊高等女學校費の二萬三千二百五十四圓教員養成所費の千七百十五圓教育補助費に屬する實業補習學校及盲啞學校教育部會等の三千七百二十七圓勸業費の主なるものは郡農會畜産組合蠶絲同業組合等の補助である。

【衛生】 本郡の治療機關として開業せる醫師四十九名齒科醫五名藥劑師三名の外産婆五十七名看護婦七十四名である郡では衛生施設の奨励産婆看護婦並に防疫事務の講習を開いて施設機關などの完備を期して居る。

【金融】 本郡の金融機關として郡内に本店を有するもの又は支店出張所を開設せるものは左の通りで其成績に就ては第四二頁を参照されたい。

郡内に本店を有するもの

株式會社三豊銀行(觀音寺町) 出張所 豐濱町、辻村

郡外に本店を有するもの

株式會社	高松百十四銀行(高松)	支店	觀音寺町 出張所 豐濱町
株式會社	丸龜商業銀行 (丸龜)	支店	豐濱町、仁尾村、詫間村、大野原村
株式會社	多度津銀行 (多度津)	出張所	觀音寺町、吉津村
株式會社	明正銀行 (善通寺町)	支店	上高瀬村
株式會社	琴平銀行 (琴平町)	支店	吉津村、出張所 詫間村
株式會社	三豊銀行 (觀音寺町)	出張所	豐濱町、辻村
株式會社	二十二銀行 (東京)	支店	觀音寺町

本郡氏の郵便貯金は大正十年三月末現在人員五萬六千二百四十四金額二百五十萬八千六百六十五圓で一戸の平均貯金額九十八圓參拾八錢に相當して居る。

【産業】 本郡産業機關として觀音寺町に三豊郡醬油製造同業組合、三豊郡蠶絲業同業組合三豊郡糖業同業組合、三豊郡隊同業組合あり他郡市と共に本郡を區域とするものに西讃塩田同業組合がある、又産業の助長金融機關として産業組合法に依る組合は合計四十二組合ある。

本郡の實業團體として資本金壹萬圓以上の會社を示すと次の通りである。

名	業	稱	營業ノ種類	所在地	資本金
仁尾鹽田株式會社	製	鹽		仁尾村	七五〇、〇〇〇
合名會社大矢根兄弟商會	煙草	刻	丁製造	同	一五〇、〇〇〇

西野鹽田株式會社	鹽田ノ經營	詫間村	五五〇、〇〇〇
松崎沖鹽田株式會社	鹽田	同	八五、〇〇〇
詫間酒造株式會社	酒類製造販賣	同	一〇〇、〇〇〇
讃岐煉瓦株式會社	煉瓦、瓦十管製造	常盤村	五〇〇、〇〇〇
讃岐米肥株式會社	精米肥料販賣	吉津村	二五〇、〇〇〇
讃岐土管株式會社	土管製造販賣	桑山村	一〇〇、〇〇〇
上高瀬製絲株式會社	生絲製造販賣	上高瀬村	八五、〇〇〇

【工業】 最近の調査に依れば本郡内工業生産額は總額六百六十一萬三千圓で内主なるものは蠶絲十四萬千圓織物二十一萬二千圓及物類十一萬圓煉瓦三十七萬四千圓瓦二十八萬二千圓七管六萬圓肥料十萬三千圓酒九十八萬千圓醬油四十四萬圓砂糖三十八萬三千圓麥粉二十四萬四千圓餡及菓子二十五萬七千圓素麵及麵類二十三萬三千圓木製品十一萬八千圓下駄三萬四千圓麥稈真田九十六萬九千圓及藁製品百十六萬圓等である。次に大正十年末調査本郡に於て職工十人以上を使用せる工場左の通り。

工場名稱	製品種類	所在地	工場名稱	製品種類	所在地
讃岐土管株式會社	土管製造	桑山村	宮本秋四郎	醬油及酢製造	観音寺町
讃岐煉瓦株式會社	煉瓦、瓦製造	常磐村	醬油製造場	酒造	同
			山本兄弟商會		

工場名稱	製品種類	所在地	工場名稱	製品種類	所在地
尾崎織物株式會社	輸出向織物製造	観音寺町	石川茂助貝鉦工場	貝鉦製造	和田村
加茂田分工場	織物	同	三豊郡化學工業所	製藥	詫間村
同 観音寺分工場	タオル製造	同	喜田グラス商會	硝子珠製造	仁尾村
觀音寺	織物	同	指寅工場	嫁入道具製造	観音寺町
有明織物合資會社	織物	同	山春繼襪工場	襪	同
製織工場	製綿	栗井村	朝日商會	煙草庖丁製造	同
大山製綿工場	綿織物	上高瀬村	大矢根兄弟商會	同	仁尾村
岩本織布工場	綿布	同	上高瀬製絲株式會社	製絲	上高瀬村
小野綿布工場	生絲製造	本山村			
三豊製絲株式會社					

【社 寺】 本郡内に現在する神社は合計四百二十二社で内縣社一郷社十八村社六十一無格社三百四十二社で寺院は天臺宗四眞言宗五十三淨土宗二臨濟宗十一眞宗二十二日蓮宗十二合計百三箇寺で境外佛堂が四箇ある、神社に就ては村社以上、寺院に就ては著名のものを各所在町村の部に於て概記する。

人物、名所、史蹟 人物名所史蹟に就ても著名のものゝみを名所在町村の順に記載する。

【仁尾村】 北詫間、莊内、東吉津、比地二、南桑山、高室村に接し西瀬戸内海を隔て、遠く伊豫の今治に對して居る明治二十三年二月仁尾、家浦の二村を併せ村制を施行せしもの面積一方里〇二八大正十年末の人口七千七十六戸數千五百五十二を有する。

社寺 加茂神社(郷社)別雷神外九神を祀る。
 八幡神社(村社)息長帯姫命外六神を祀る。
 日技神社(村社)大山咋命外七神を祀る。
 不動護國寺 大寧山覺城院と號し眞言宗仁和寺末弘仁十年空海の開基である本寺寶物中木像聖觀音像は國寶に編入されてある。
 普門院 七寶山慈眼寺と號し眞言宗吉禪院末元龜年間辻當明の開基と云ふ。
 廣嚴院 瑠璃山と號し眞言宗覺城院末寺。
 金光寺 寶珠山と號し眞言宗覺城院末行基菩薩の開基で古へ細川氏の香華院であつた。
 神宮寺 七寶山と號し眞言宗覺城院末。
 瑞雲院 寂光山蓮乘寺と號し眞言宗覺城院末。
 極樂寺 七寶山と號し淨土宗播磨大覺寺末寺。
 常德寺 大安山と號し禪宗妙心寺末常光なる者の開基である。
 吉祥院 七寶山十波羅寺と號し眞言宗大覺寺末延曆十三年弘法大師の開基。
 圓明院 眞言宗仁和寺末七寶山圓興寺と號し行基菩薩の開基で僧忍性中興した。
 名勝 仁尾平石 本村を距る二十五丁大蔦島の北端より二十丁の海中に浮び東西九間南北七間面積六十餘坪の巨岩で其上平かに數百人を座せしむべく昔時生駒侯丸龜侯の來遊されしことあり海波四面に澹々俗塵を洗ひ清遊に適するより夏日雅人の行厨を展ぶる者が多い

人物 三等和上 諱は三等字は哲眞房、南月堂と號し父は高島氏母は飯田氏三木大郡町村に生れ幼にして高松無量壽院に薙染し壯年の比高野山に遊び秘密の大法悉曇等を東都靈雲寺の淨嚴和上又實詮大徳に稟受業成り歸國寶永四年十二月三十七歳にして覺城院に移り本寺の荒廢を回復今の地に移し中興した師は漢學詩文を能くし著書數部あり延享三年六月六十九歳で寂した。

辻子禮 諱言恭、仁保浦の人其父を源助と云ふた安永三年京師に至り柴野栗山の門に入り經史を學び旁ら福井大車に醫を學び刻苦勵學した後疾を獲安永四年九月二十四歳で歿した栗山の編した雜字類編の如き子禮の校したものである。

右の外本村の人物に眞鍋彌太夫(里正にして事業家)僧包山、遠紫嶂(畫家)鴨田遊石(畫家)山地花曉(畫家)などがある。

【莊内村】 郡の西北端に位して瀬戸内海に突出し東訖間仁尾村に接し他は海に面して居る明治二十三年二月大濱浦、箱浦、積浦、生里浦の各村を併せ村制を施行せしもの面積〇、八四八方里大正十年末の人口五千四百十戸數千二十七を有する。

社寺 八幡神社 (郷社)大濱に在り中哀天皇外二神を祀る。
 木村神社(村社)木花咲耶姫命を祀る。
 十輪院 積浦に在り眞言宗圓明院末。
 安養寺 七寶山阿彌陀院と號し眞言宗高野金剛三昧院末寺。

香藏寺 箱浦に在り七寶山地藏院と號し眞言宗三昧院末開山不詳中興宥性和尚なりと云ふ
神正院 生里浦に在り七寶山神宮寺と號し眞言宗高野三昧院末大永四年三月の開基なりと
ある。

壽命院 眞言宗圓明院末寺。

【粟島村】 詫間莊内の正北に位し北佐柳島を望む東西二里余南北二十四丁周圍五里東に屬
島志々島あり明治十八年以前は各獨立村であつたが明治二十三年併合して一村となつた面
積〇、三二四方里大正十年末の人口二千八百二十四戸數五百二十縣立粟島航海學校の所在
地である。

社寺 八幡神社(村社)志々島に在り應神天皇外二神を祀る。

八幡神社(村社)粟島に在り中哀天皇外二神を祀る。

梵音寺 滿濤山聖壽院太子坊と號し眞言宗明王院末寺聖德太子の開山と云ふ。
利益院 志々島に在り福壽山東林寺と號し眞言宗明王院末寺。

【詫間村】 東吉津南仁尾、西莊内村に界し北瀬戸内海に臨む明治二十三年詫間、香田浦、
松崎の三村を併せ村制を施行せしもの面積〇、八五八方里大正十年末人口八千六百六十四戸
數千七百三十四詫間灣は詫間村一帯海灣の總稱で其前面に粟島、志々島、龜笠島、岩島な
ど羅列し水深六十尺天然の良港で往古太閤征韓の際大船の寄港せしことあり近く日露戰役
以降軍馬の輸送港として巨船の碇繋されしこと暫々ある。

社寺 小鳥神社(村社)松崎に在り天照皇太神外二神を祀る。

浪打八幡神社(郷社)宮下に在り應神天皇を祀る。

圓明寺 松崎に在り寶生山長壽院と號し眞言宗善通寺末開基不詳僧宥遍の中興である。

寶善坊香田浦に在り眞言宗圓明院末寺。

龍光寺 眞言宗威徳院末七寶山善性院と號す。

寶林寺 七寶山と號し眞言宗威徳院末寺。

史蹟 尊澄親王舊趾 王屋敷と云ひ街道より二丁餘距てたる處にあり明和九年二月石を建
て標とした、尊澄親王は後宗良親王と稱し後醍醐天皇第八の皇子で正慶元年三月讃岐に謫
せられ給ひ此所に三年の間留まらせられたが、建武元年六月當國の兵を率ひて京師に歸り
給ふたのである。

【大見村】 東仲多度郡白方、吉原村南及西本郡下高瀬村に界し北瀬戸内海に望む古へ高瀬
郷下六村の内であつたが明治二十三年二月獨立の一村となつた、面積〇、五六四方里大正
十年末人口は三千四百十三戸數七百四である。

社寺 日枝神社(郷社)宮脇に在り大山咋命を祀る。

正八幡神社(村社)深尾に在り祭神仲哀天皇外四神。

彌谷寺 劍五山千手院と號し眞言宗善通寺末寺四國七十一番の靈場で天平勝寶年間行基菩
薩の開山である其後大同二年弘法大師此山に入つて苦行せしことあり由緒に富んで居る寺

内に國寶がある。

多聞寺 貴峰山寶城院と號し眞言宗誕生院末寺。

史蹟 大見城 藤田四郎入道宗遍築いて之れに居り後綾景則の居城であつた。
天霧城 香川氏の要城であつた。

【吉津村】 東下高瀬南比地二、西仁尾、北詫間村に界す古へ詫間郷下十二村の一であつたが明治二十三年二月獨立の一村となつた面積〇、四三六方里大正十年末の人口二千七百八十八戸數五百七十一である。

社寺 伊豫神社(村社)津之前に在り伊豫津日古神外一神を祀る。

八柱神社(村社)正本に在り田心比賣命外七神を祭る。

高津神社(村社)宗古に在り大雀命外一神を祭る。

荒魂神社(村社)沙木に在り祭神大物主命外一神。

吉祥寺 七寶山藥師院と號し眞言宗威徳院末寺慶長年中正珍なる者の開基である。

超圓寺 好月山と號し眞宗本願寺末寺沙門玄西なる者の草創である。

【下高瀬村】 東及南上高瀬、西吉津、北大見村に界す舊高瀬郷下六村の一であつたが明治二十三年二月獨立の一村となつた積面〇、二四一方里大正十年末の人口二千二百三十七戸數四百六十五である。

社寺 八幡神社(村社)八幡に在り八幡大神を祀る。

法華寺 高永山久遠院と號し法華宗富士本門寺末沙門日仙正應二年の開山で屬院中ノ坊、奥ノ坊、西ノ坊、法善坊、泉要坊は村内に上ノ坊、西山坊、寶光坊は上高瀬村にある。

【上高瀬村】 東仲多度郡善通寺町南本郡勝間村、西吉津比地二、北下高瀬村に界す古へ高瀬郷下六村の内であつた、明治二十三年二月上高瀬、新名の二村を合併村制を施行せしもので面積二方里〇〇九大正十年末人口三千七百七十八戸數七百八十八である。

社寺 横山神社(村社)新名に在り祭神天手力男命外二神。

新田神社(郷社)原に在り左中將義貞朝臣外一神を奉祀す安藤衛門三郎なる者の創祀せしものである。

産巢日神社(村社)高皇産靈命外一神を祀る。

龜山神社(村社)歸來に在り祭神大己貴命外二神。

寶光寺 東岳山新坊と號し眞言宗威徳院末寺西山坊本蓮寺と號し高瀬大坊の末寺。

寶光坊 本興寺と號し高瀬大坊の末寺。

【勝間村】 東麻村、南二宮、西比地大、比地二、北上高瀬村に界す舊勝間郷下七村の内であつた明治二十三年二月上勝間下勝間の二村を合併村制を施行せしもので面積〇、五九四方里大正十年末の人口三千三百十八戸數六百三十四を有す。

社寺 月枝神社(郷社)上勝間に在り大山作命外二神を奉祀す。

天滿神社(村社)鴨谷に在り大山津見神外一神を祀る。

日枝神社(村社)西脇に在り大山咋命を祀る。

地藏寺 上勝間に在り寶珠山悲願院と號し眞言宗勝造寺末寺。

勝造寺 下勝間に在り七寶山威徳院と號し眞言宗大覺寺末開基不詳。

作原寺 下勝間に在り眞言宗勝造寺末寺。

史蹟 勝間城 三野大領世々之に居つたのであるが三野氏は物部守屋の裔で古より此地に住んた、三野菊右衛門(香川氏元老)は其後である。

【笠田村】 東勝間、二宮、南上高野、西桑山、北比地大村に界す明治二十三年二月笠岡竹田の二村を併せ村制を施行せしもの面積〇、二八三方里大正十年末の人口は二千百八十戸數四百四十七である。

社寺 忌部神社(村社)竹田に在り手置帆負の命外三神を祀る。

宇賀神社 村社 笠岡に在り豊彦姫命を祀る。

長林寺 笠岡に在り七寶山地藏院と號し眞言宗延命院末寺。

【比地二村】 東勝間南比地大、西仁尾、北上高瀬村に界す本村は舊比地郷下四村の内であつた比地、比地中の二村を合併明治二十三年二月村制を施行せしもので面積〇、四〇六方里大正十年末の人口三千三十二戸數五百五十である。

社寺 森神社(村社)北郷に在り用明天皇を奉祀す。

春日神社(村社)比地中に在り武甕槌命外二十五神を奉祀す。

徳成寺 七寶山と號し眞言宗勝造寺末寺寛文五年の建立。

東光寺 臨濟宗東福寺末享保年間小山市兵衛の建立である。

蓮臺寺 七寶山と號し眞言宗威徳院末寺。

人物 本村の人物に岐陽、岐陽名は方秀姓は佐伯不二道人と號し正平十八年熊岡郷比地村に生れ幼時京師に至り詩書經書を學び大に宋學を傳へた應永三十一年二月六十二歳で入寂した。

【比地大村】 東勝間、笠田、南桑山、西仁尾、北比地二村に界す舊比地郷下四村の内であつた比地大村を明治二十三年二月獨立して村制を施行せしもので面積〇、二一〇方里大正十年末の人口千六百十五戸數三百三十四である。

社寺 熊岡八幡神社(郷社)承平元年三月の勸請で息長足姫命外九神を祀る。

萬福院 七寶山寶相坊と號し眞言宗威徳院末寺。

總官寺 七寶山と號し眞言宗威徳院末寺承應二年の草創である。

【桑山村】 東笠田、南本山、常盤、西高室、仁尾、北比地大村に界す、明治二十三年二月下高野、岡本の二村を合併村制を施行せしもので面積〇、四三五方里大正十年末の人口三千百六十三戸數五百九十である。

社寺 八幡神社(村社)岡本に在り譽田別命外十六神を祀る。

國木八幡神社(村社)下高野に在り祭神譽田別命外十六神。

延壽寺 七寶山藥師院と號し眞言宗延命院末寺。

名勝 不動瀧 一名經ヶ瀧 岡本七寶連山の南面にあり懸崖より直下すること十五丈傍に不動明王の石像あり附近楓樹樅樹多く秋色佳である。

【本山村】 東上高野、南一ノ谷、西桑山、北笠田村に界す明治二十三年二月寺家及本大村の内川東を合併村制を施行したるもので面積〇、一五七方里大正十年末の人口千七百二十三戸數三百三十九である。

社寺 高良神社(村社) 寺家に在り玉無命外五神を祀る貞觀十四年田井式部なる者の勸請である。

今原神社(村社) 同上大巳貴命を祀る。

本山寺 七寶山持寶院長福寺と號し眞言宗大覺寺末四國七十番の靈場で大同二年弘法大師平城天皇の勅を奉し開創せしもの爾後屢々興衰あり由緒古く本寺八脚門は特別保護建造物となつて居る。

人物 本村の人物として僧教存、僧敏、畫家小西松塙、同小西松琴、同小西松籟などがある。

【上高野村】 東二宮、南財田大野、南及西本山、北笠田村に界す舊高野郷下二村の内であつたが明治二十三年二月獨立して一村を爲した面積〇、二一〇方里大正十年末の人口千四百二十三戸數四百四十一である。

社寺 五十鈴神社(村社) 片山に在り天照皇太神外一神を祀る。

勝樂寺 延命院と號し眞言宗大覺寺末空海の開基と稱せられる。

妙音寺 寶積院と號し眞言宗延命院末寺空海の開基である。

誓源寺 寶珠山と號し眞宗西本願寺末寺。

【二宮村】 東麻、東及南神田、南財田大野、西上高野、笠田、北勝間村に界す明治二十三年二月佐股羽方の二村を併せ村制を施行せしもの面積〇、九四二方里大正十年末人口二千八百九十五戸數五百三十二を有する。

社寺 長峯神社(村社) 佐股に在り祭神瓊々杵命。

大水上神社(郷社) 羽方に在り祭神大山祇命讚岐延喜式二十四社の一である。

【麻村】 北仲多度郡善通寺、東琴平町に接し南神田、勝間村に界す明治二十三年二月佐股羽方の二村を合併村制を施行せしもの大正十年末の人口三千百九十七戸數六百七十八。

社寺 池八幡神社(村社) 下麻にあり祭神譽田別命外二十三神。

麻部神社(村社) 上麻にあり祭神天日鷲命外二十七神。

法華寺 僧頭山歡喜院と號し眞言宗善通寺末寺道雄なる者の開基である。

源宗寺 有光山と號し眞宗本願寺末天正三年高瀬村音田に了誓の草創したもので後今の地に移した。

光照寺 朝日山專教院と號し眞宗本願寺末寺初め天臺宗であつたが僧教光に至つて改宗し

た。

佛巖寺 眞宗慧日山旭樹院と號し元天臺宗であつたが後宗悦に至り蓮如上人に歸依して改宗した。

【神田村】 東仲多度郡十郷村、南本郡財田、西財田大野、二宮、北麻村に界す本村は舊勝間郷七村の内であつたが明治二十三年二月獨立の一村となつた面積〇、七九七方里大正十年末の人口千七百六十三戸數三百二十である。

社寺 十二神社(村社)地藏にあり天照皇太神宮を祀る。

【財田村】 東仲多度郡十郷村、南徳島縣三好郡、西本郡河内及財田大野、北神田村に界す明治二十三年二月財田上、財田中の二村を併せ村制を施行せしもの面積三方里〇七八大正十年末の人口五千四百二十六戸數千二十三を有する。

社寺 雨宮神社(村社)財田中にあり祭神高禰神外九神。

鉾八幡神社(郷社)財田上にあり祭神大輅別命外二十一神。

萬福寺 殊勝山と號し眞言宗伊舍那院末寺空海の開基である。

品福寺 教國山と號し眞宗興正寺末元和年間沙門教山の草創である。

正善寺 金頭山と號し眞宗興正寺末寺寶光寺四代の僧覺圓の再興せしものである。

善教寺 九法山と號し眞宗寶光寺末寺香西伊賀守の弟左衛門尉清繼入道して了圓と稱し此地に草創せしものである。

寶光寺 嚴島山と號し眞宗興正寺末永正年中嚴島神主佐長伊豆守道雅の草創である。

伊舍郡院 北田山如意輪寺と號し眞言宗大覺寺末聖德太子の開基である。

名勝 鮎返ノ瀧 瀑流豪莊雄大四時詠觀に能く詩人墨客の曳杖するもの尠くない。

人物 大久保謙之丞 財田上の人嘉永二年八月十六日生れ夙に殖産興業に意を用ひ殊に四國新道開鑿に當り盡瘁すること長年月遂に目的を達したるも家産を傾けた明治二十四年十二月縣會開會中疾を得四十三歳で歿した。

大久保彦三郎 謙之丞の弟で幼より穎悟學を好み後京都及東都に學び明治二十八年盡誠舎を開き育英事業に盡したが明治四十年七月四十七歳で病歿した。

【財田大野村】 東神田東南財田、南河内、西辻、本山北上高野、二宮村に界す明治二十三年二月大野、財田西村の二村を合併村制を施行せしもの面積〇、三四〇方里大正十年末の人口二千四百六十二戸數四百八十六を算する。

社寺 八幡神社(郷社)大野に在り品陀別命外一神を祀る。

天満神社(村社)財田西に在り菅公外二神を祀る。

密藏寺 瑠理山と號し眞言宗伊舍那院末寺。

光顯寺 大野に在り眞宗東本願寺末法輪山と號し天文十年沙門了源の草創。

宗運寺 同上駒石山千手院と號し眞言宗地藏院末慶長年中山下市左衛門盛久なる者薙髮して宗運と名け創草せしものである。

養林寺 同上香谷山と號し眞宗東本願寺末天文十年沙門祐了の草創。

【觀音寺町】 東常盤、南柞田、北高室村に界し西瀬戸内海に面す西讃の一都會で郡衙の所在地である舊坂本郷の一部で觀音寺村と稱し明治十八年一月本村と伊吹島聯合で戸長役場を置いたが明治二十三年二月合併して觀音寺町と改めた、面積〇、四六一方里大正十年末の人口壹萬五千八十戸數三千四十六を算する。

社寺 琴彈八幡神社(郷社)息長足姫外四神を祀る人皇四十二代文武天皇の大寶三年三月二十一日怪異神宣に依り山僧日證の創祀せしものと傳へられる社寶に後陽成院の御震筆などがある。

八幡神社(村社)伊吹に在り帶地賣命外二神を祀る。

觀音寺 七寶山神惠院と號し眞言宗天平寶字七年日證の開基で四國六十八番六十九番の札所である寺内に寶物多く總持院は往昔七坊の一で寺内にある。

興昌寺 七寶山と號し禪宗東福寺末僧無證の開山である。

佛證寺 護念山と號し眞宗興正末寺元和年中合田左近なる者薙髮して善阿彌と號し粟井村に坊舎を構へ後周尊に至り寛文中此地に移つた。

光明寺 普照山と號し眞宗興正寺末寺。

一心寺 持名山と號し眞宗興正寺末寺。

盛福寺 上市浦に在り妙嚴山と號し禪宗興昌寺末僧無底の開山である。

尊念寺 下市浦に在り福聚山普門院と號し淨土宗專修寺末寺。

乘蓮寺 中州浦に在り普門山と號し禪宗興昌寺末寺天文の頃僧月秋の開山である。

西光寺 假屋浦に在り景雲山と號し禪宗興昌寺末寺。

藥師寺 同上醫王山と號し禪宗興昌寺末僧寶山の開基である。

泉藏院 伊吹にあり七寶山と號し眞言宗觀音寺末寺。

名勝 琴彈公園(第九八頁を見よ)。

史蹟 一夜庵 興昌寺の境内北方の小高き所にあり俳聖山崎宗鑑の居蹟である。

人物 山崎宗鑑 宗鑑は佐々木隱岐前司義清の末裔で江州支那の人初め支那彌三郎範重と稱し足利將軍義尚に仕へた義尚の死後致仕薙髮して尼ヶ崎に隠れ後山城山崎に移り油筒を賣り世を過し同地に草庵を結んだ因て山崎を姓とし風月を樂み俳歌を好み寢食を忘れた晩年西國に行脚し歸途舊知興昌寺の僧梅谷を尋ね享祿初年の頃此所に草庵を結び止住したのであるが天文二十二年十月二日八十九歳で歿した、宗鑑賓友を過するに客の留る一夜を過さず因て一夜庵と號した、戯に壁に題して曰く。

上は去に、中は日暮し、下は夜まで

一夜泊りは、下下の下の客

一夜庵は大正十一年を距る實に三百九十六年前の建造物で其後數回修繕せられたが今に舊態を損せず現存して居る又興昌寺には宗鑑の遺物が藏されて居る。

宮本散哉 名は稼矩字繩視、璋庵、六々洞、天外史などの號あり晩年風月翁と號した觀音寺の人中井竹山の高弟で詩文を能くし畫に巧みであつたが嘉永三年五月七十五歳で歿した伊吹島 觀音寺町に屬し東西七町南北五町周圍四十一町三十八間中州浦より西三里の海上に在り住民は漁業が專業である。

【高室村】 東桑山、南觀音寺、北仁尾村に界し西瀬戸内海に面す明治二十三年二月高室村室本浦を合併村制を施行せしもので面積〇、四三八方里大正十年末の人口二千八百七十二戸數五百六十九を算する。

社寺 高屋神社(郷社)高屋に在り邇々杵命外十七神を祀る延喜式内讚岐二十四社の一である。

皇太子神社(村社)室木に在り彦火々出見命を祀る。

寶珠寺 高室に在り七寶山護國院と號し眞言宗地藏院末寺。

羅漢寺 同上七寶山蓮光院と號し眞言宗寶珠寺末羅漢堂あり五百羅漢を安置す。

【常盤村】 東一ノ谷、豊田、南紀伊、柞田、西觀音寺北桑山、高室に界す明治二十三年二月植田、出作、流岡、村黒の四村を合併村制を施行せしもので面積〇、三二〇方里大正十年末の人口三千二十二戸數五百九十八を有する。

社寺 若宮神社(村社)出作に在り仁德天皇外一神を祀る。

加茂神社(村社)植田に在り瓊々杵命外九神を祀る承平中の勸請。

加麻良神社(郷社)流岡に在り大己貴命外一神を祀る讚岐延喜式二十四社の一である。

立專寺 七寶山と號し眞宗興正寺末寺慶長の頃沙門正祐の開基である。

西蓮寺 寶地山と號し眞宗興正寺末寺慶長の末葉小西行長の子與助薙髮して正珍と稱し此地に一字を建て西蓮寺と號したと傳へらる。

【一ノ谷村】 東本山南辻、豊田、西常盤北桑山村に界す明治二十三年二月吉岡、古川、中田井村及本田村の一部を合併村制を施行せしもので面積〇、二六六方里大正十年末人口二千五百七十五戸數四百七十三を有する。

社寺 五柱神社(村社)天之穗日命外五神を祀る。

天神社(村社)中田井に在り菅原道眞公を祀る。

荒魂神社(村社)古川に在り素盞鳴命外二神を祀る。

吉岡神社(村社)吉岡に在り帯比賣命外二神を祀る。

【辻村】 東北財田大野、東南河内、南粟井、西豊田、北本山、一ノ谷村に界す舊山本郷の一村であつたが明治二十三年二月獨立の一村として村制をいたもので面積〇、三二三方里大正十年末の人口は二千四百五戸數四百六十五である。

社寺 菅生神社(郷社)邇々杵命外五神を祀る。

大興寺 小松尾山不動光院と號し眞言宗大覺寺末寺四國六十七番の靈場で弘仁十三年空海の草創である。

玉泉寺 字西光寺に在り天臺宗園城寺末天平年中行基の草創で天文年中九満房の再興したものである。

大法寺 字大辻にあり日蓮宗大本山光長寺末明治十八年六月の草創である。

河内村 東財田村、南徳島縣三好郡、西粟井村、北財田大野及辻村に界して居る舊山本郷下の一村であつたが明治二十三年二月獨立の一村とし村制を布いた面積〇、六八九方里大正十年末の人口千三百六十九戸數二百二十六である。

社寺 河内神社(村社)坪屋にあり天都彦根命を祀る。

國修神社(村社)裏口に在り大國主命を祀る。

藥王寺 壺寶山東福坊と號し眞言宗地藏院末寺。

【豊田村】 東辻村、南粟井、西紀伊、常盤北一ノ谷村に界す明治二十三年二月新田、原、池尻の三村を合併村制を施行せしもの面積〇、三一二方里大正十年末の人口三千三百七十一戸數五百六十八を算する。

社寺 黒島神社(郷社)池の尻に在り祭神開山祇神外十五神延喜式内讃岐二十四社の一である。

金安神社(村社)立石に在り八意思兼命を祀る。

荒魂神社(村社)粟屋に在り大物主荒魂神を祀る。

心光院 寶珠山と號し禪宗妙心寺末寺。

大通寺 原に在り東面山と號し天臺宗比叡山延曆寺末僧日通の開山である。

【粟井村】 東河内、南徳島縣三好郡、西五郷紀伊、北豊田、辻村に界す舊紀伊郷下の一村であつたが明治二十三年二月獨立の一村となり村制を施行した面積〇、八四七方里大正十年末人口は二千三百四十四戸數四百四十七である。

社寺 粟井神社(縣社)字竹成に在り祭神月讀命外二神延喜式内讃岐二十四社の一で由緒ある古社である。

於神社(村社)上野に在り祭神譽田別命外一神延喜式内讃岐二十四社の一である。

大圓坊 寶樹山西光院と號し眞言宗地藏院末寺。

徳賢寺 金界山と號し眞宗興正末寺文祿の頃合田與左衛門常清薙髮して念西と稱し此地に草庵を結び寛永八年寺號を許されたものである。

史蹟 藤目城趾 紀伊村字丸井と粟井村との間に在り齋藤下總守師郷の居城であつた。

【紀伊村】 東粟井、南五郷、西萩原、中姫、柞田、北常盤、豊田村に界して居る明治二十三年二月丸井、青岡、木郷、福田原の四村を合併村制を布いたもので面積〇、五八五方里大正十年末の人口二千七百四十五戸數五百三十六である。

社寺 雨之宮神社(村社)丸井に在り祭神天照皇太神外六神。

項懸神社(村社)福田原に在り大國主命外四神を祀る。

千尋神社(村社)木ノ郷に在り伊邪那岐命外五神を祀る。

十輪寺 丸井に在り平寧山瑞泉院と號し眞言宗地藏院末寺。
福泉寺 同上摩尼山と號し眞宗興正寺末正保元年僧了通の開基である。
東園寺 母神山谷之坊と號し眞言宗地藏院末寺。
妙願寺 眞宗興正寺末天正年間兵火に罹り中絶して居つたが明治十六年再興したものである。

【萩原村】 東紀伊、南五郷、西和田、豊濱、北大野原、中姫に界す舊姫郷下に在つた一村を獨立して村制を布いたもので面積〇、二九六方里大正十年末の人口千九百三十四戸數三百五十三である。

社寺 井上神社(村社)岡ノ山に在り天照皇太神外九神を祀る。
萩原寺 巨龜山地藏院中之坊と號し眞言宗大覺寺末寺空海の開基で末寺多く寺寶復願る多

【中姫村】 東紀伊、南萩原、西大野原、北柞田村に界す舊姫郷下の一村を獨立村制を布いたもので面積〇、一二四方里大正十年末の人口千三百六十二戸數二百七十一である。
社寺 八幡神社(村社)監物に在り帶中日子命外四神を祀る。
菅原神社(村社)天神前に在り祭神菅原道眞外二神。

【五郷村】 東紀伊、粟井、南徳島縣三好郡及愛媛縣宇摩郡、西和田、北大野原村に界す明治二十三年二月井關、田野々、海老濟、内野々、有木の五村を合併村制を施行したもので

面積一方里九七六大正十年末の人口は千五百六十戸數二百六十三である。

社寺 瀧宮神社(村社)井關に在り須佐男命外三神を祀る。

鎌倉神社(村社)田野々に在り大物主命外五神を祀る。

三部神社(村社)内野々に在り天津彦根命外一神を祀る。

三郡神社(村社)有木に在り天津彦根命外一神を祀る。

法泉寺 最勝山と號し眞宗興正寺末沙門淨信の草創である。

雲邊寺 雲邊山の頂に在り巨龜山と號し四國六十六番の札所で空海の創立である。

【和田村】 東萩原、五郷、南愛媛縣宇摩郡、北豊濱萩原村に界し西瀬戸内海に面して遠く今治に相對して居る明治二十三年二月和田箕浦の二村を合併村制を施行したもので面積〇、九〇三方里大正十年末の人口は四千四百七戸數八百九十四である。

社寺 五十鈴神社(村社)寺山に在り祭神保養命外八神。

神田神社(村社)箕浦に在り祭神大己貴命外七神。

國祐寺 雲風山と號し日蓮宗本能寺末弘仁十二年の草創である寺内に大平國祐の墓石がある。

【豊濱町】 東萩原、南和田、北大野原村に號し西瀬戸内海に面して居る明治二十三年二月和田濱、姫濱の二村を合併町制を施行したもので面積〇、一六一方里大正十年末の人口三千二百六十七戸數八百七十八を有する。

社寺 八幡神社(郷社)和田濱に在り帶仲日子命外二神を祀る。

一宮神社(村社)姫濱に在り猿田彦命外九神を祀る。

宗林寺 無量山利益院と號し眞言宗地藏院末寺由緒不詳。

満願寺 補陀洛山寶泉坊と號し眞言宗地藏院末寺由緒不詳。

人物 合田新左衛門 豊濱の人で元祿の頃和田姫之江郷の荒蕪地を開墾し河川を修築し溜池を作るなど私財を投して公益を圖つた。

藤村墨雨 名は直弘字は毅順通稱音九郎澹齊、今はなどの號がある畫を能くし俳歌に巧みであつたが安政二年十二月五十九歳で歿した。

【大野原村】 東中姫、萩原、南豊濱、北柞田村に界し西瀬戸内海に面して居る明治二十三年二月大野原、花稻の二村を合併村制を布いたもので面積〇、五二三方里大正十年末の人口六千七百九戸數千三百九十七である。

社寺 三島神社(村社)花稻に在り祭神大山祇神外七神。

八幡神社(郷社)大野原に在り足仲日子命外二神を祀る寛永二十年の草創である。

慈雲寺 正重山と號し日蓮宗本國寺末正保二年日慈の開山である。

【柞田村】 東紀伊南中姫、大野原、北觀音寺、常盤に界し西瀬戸内海に面す明治後黒淵、山田尻、北岡、大島の四村を合し柞田村と稱し明治十八年一月柞田村出作村聯合役場を設けたが二十三年二月柞田村は獨立の一村となり出作村は常盤村に合した、面積〇、四二四

方里大正十年末人口は四千百三十五戸數七百六十四である。

社寺 山田神社(郷社)中新田に在り大穴牟遲命外三神を祀る延喜式内讃岐二十四社の一である。

境八幡神社(村社)山田尻に在り品陀和氣命外二神を祀る。

延命寺 黒淵に在り眞如山と號し眞言宗地藏院末寺由緒不詳。

正樂寺 山田尻に在り海圓山と號し禪宗東福末寺僧無際の開山である。

松林寺 眞如山と號し禪宗東福末寺僧天安の開山である。

善正寺 觀海山と號し眞宗興正寺末沙門教順の開基である。

無 比 醇 芳

賜勅使御差遣之光榮

蒙內宮省御用命



ウヨリンキ

元 造 釀

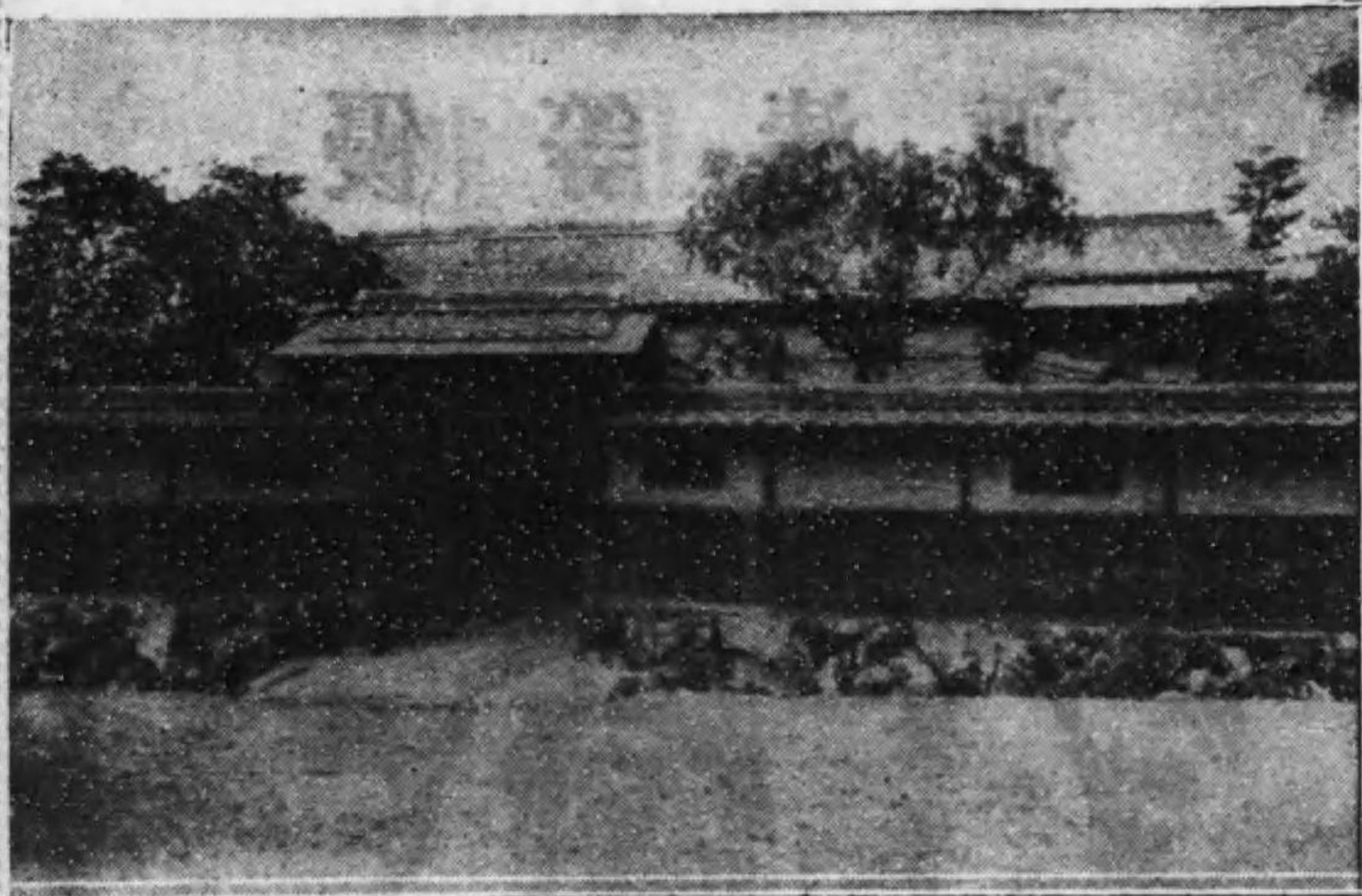
町 平 琴 縣 川 香

店 商 野 西 陵 金 社 會 式 株

香 三 五 番 二 五 番 三 話 電

瀨 高 上 岡 福 松 高 吳 阪 大 京 東 店 支

浴各宮殿下御料理拜命之光榮



金刀比羅宮裏參道口

御參拜ニ至便ノ地ニ在リ

旅館並割烹

鮮松竹園

電話 二二二番
長一〇九番

御集會ニハ大廣間ノ設備アリ

體育器械製作 教育圖書出版

香川縣琴平町

都村有爲堂

電話 長六五五番
接五五番
連一五七二番
替一五七二番

宮內省御買上品

優等清酒

登錄商標



香川縣仲多度郡

垂水釀造合資社會

吳服雜貨
小間物
化粧品

善通寺町

前野吳服店

電話長二九番

正札にて
安く賣る店
買ひよき店

善通寺町

吉田吳服店

長電話一四九番
電略ヨ(又ハ)ヨシ

書籍
文房具
和用紙

善通寺

商 森 兵 林 館

電話 九
振替 東京二四三〇六
大阪一七八〇四

吳服店

東
方

善通寺町

か め や 東 店

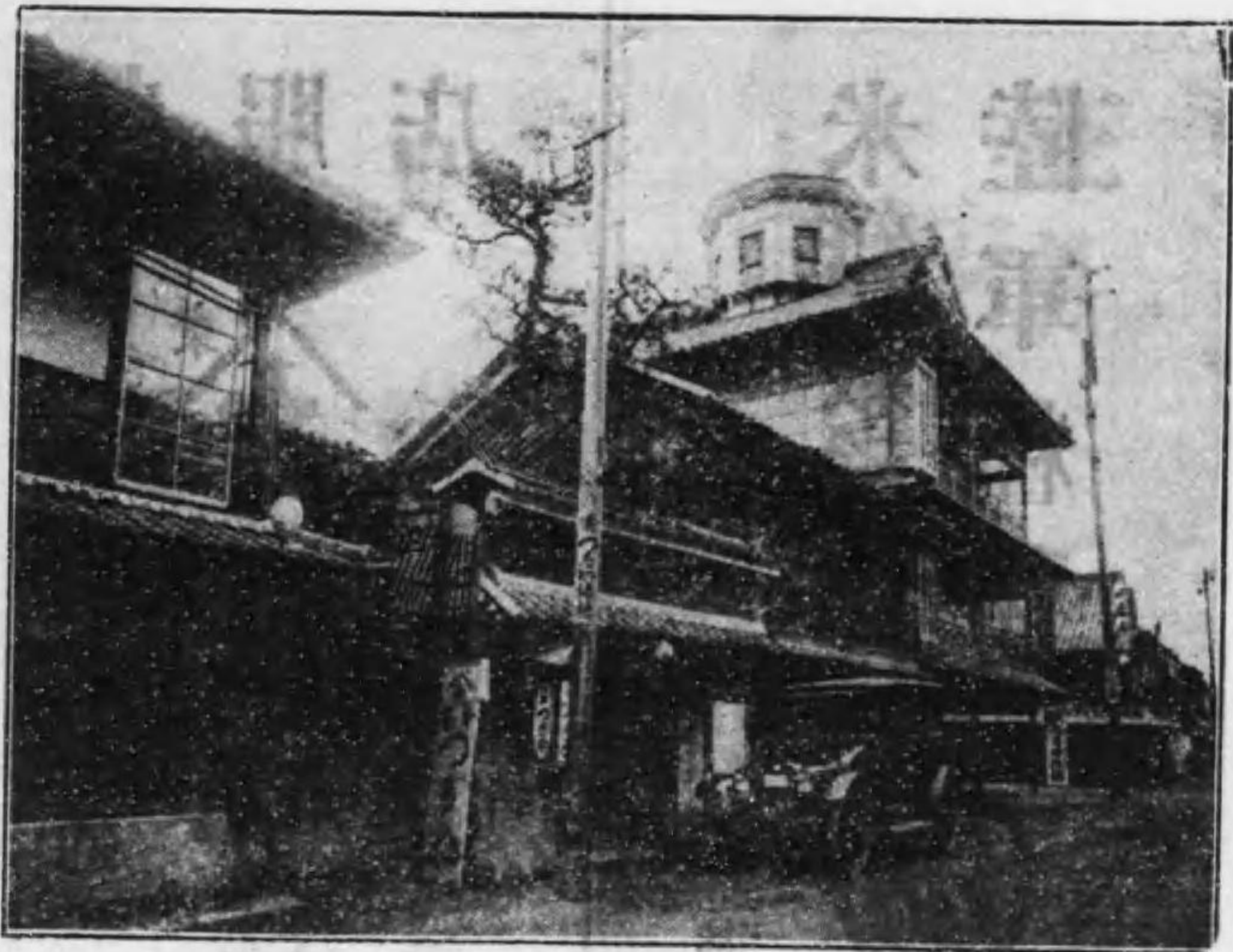
電話 四番
振替 大阪一八三三七

米雜穀輸出
陸軍糧秣

商 阿河淺次商店

讚岐善通寺町

長電話三五番
電略ア(又ハ)ア力



金刀比羅宮御用宿

琴平内町四ツ辻角

角つるや旅館

電話一七番
振替大阪四八〇九一

香川縣多度津町

四國水力電気株式會社

營業
目業

電力供給（讚岐一圓）
電車部（自高松至志度）
瓦斯供給（高松市内及接續村）

宮内省御買上品
名譽

おふく足袋

丸龜市通町

おふく足袋製造株式會社

電話長三十三番

善通寺町
眞心
石鹼本舗

電話長十一番
倉商店

品質優良
香川縣仲多度郡與北村

綿織物
旭合名會社
柄間卓絶
電話(アサヒ)

肥料販賣

香川縣仲多度郡與北村

向井合資會社

【工場設備機械種類】

自動式大割帶鋸臺
テール式帶鋸臺
丸鋸臺

香川縣多度津港

木材販賣
製材業
米材卸小賣
宮川源治商店

長電話二二一番
電略(ミヤ)又ハ(ミ)

陸船用石油發動機
吸入瓦斯發動機

高松市搦屋町

農用小型發動機
灌溉用唧筒各種
橫田式精穀機

橫田鐵工所

長電話六三八番
電略大阪四四三三番
電略(マ)又ハ(マキ)

錄 登



新案特許第四九四九號
丸龜特產

乃木草履

製造元 片桐久助

丸龜市鹽屋

鹽屋團扇合資會社

長電話(四七)電器(シラ)
總機口座大阪三七二四番

同市風袋町

鹽屋團扇合資會社支店

電話一六〇番

表金貨

間時着發

每 日(定期)

琴平池田間	片道	三圓七十錢
琴平高知間	片道	九圓六十錢
同	午後二時	同
同	午後〇時(正午)	同
池田發	午前九時	琴平着
同	午後二時半	同
同	午後〇時(正午)	同
同	午後二時半	同
同	午後四時半	同
同	午後二時	同
同	午後四時	同
同	午後二時	同
同	午後四時	同

德島方面行ハ毎日午前午後共池田發列車
ニ接續ス

町平琴縣川香

社會車動自豐三 株式會社

番三三長話電

町田池縣島德 | 所張出
町詰堀市知高

御大典紀念銘酒

主基の香

優等清酒

藤世界

釀造元

藤井酒造部

丸龜市船頭町

(電話三八番)



丸龜市鹽飽町拾三番地

丸龜團扇株式會社

讚岐特産
彫板

團扇漆

團扇器

部部

電話長六四番
振替口座大阪二三二七番

香川縣琴平町

株式會社 琴平銀行

電話六番

陸軍宮田製 善通寺町
御用販賣 藤井自轉車商店
電話長二二番

賜宮內省御買上榮

琴平特產彫拔漆器

象麓盆

讚岐國琴平町

本家 小田象麓堂

電話琴平百十番
振替大阪四三九三〇番

大正十三年一月十三日印刷
大正十三年一月二十日發行

【定價金壹圓參拾錢】

著作 者

和田 喜一

發行人 兼

高松市西濱新町二五ノ六

間島 武男

發行所

高松市濱ノ丁十二番地

香川新報社

高松市南新町

元賣捌所 蘆澤日新堂

電話五六三番
振替大阪一三四八三番

74
196

終